



# 神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ● 会長 横山 範夫      | ● 会長エレクト 加藤 仁昭  |
| ● 副会長 渡邊 淳之     | ● 副会長 月山 勇      |
| ● 幹事 飯田 泰之      | ● 副幹事 天野 公史     |
| ● 会計 朝日 達夫      | ● 副会計 田口 健太郎    |
| ● S A A 伊澤 政宏   | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一   |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2010-2011年度 第30号週報 No. 1684 2011年(平成23年) 2月18日 第1684回例会記録 2月25日発行

司 会 天野 公史 副幹事

誕生日祝

脇田いすゞ 会員 (2月21日)

伊澤 政宏 会員 (2月22日)

梅崎 興生 会員 (2月22日)

点 鐘 横山 範夫 会長

斉 唱 「我等の生業」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

### ゲスト紹介

大橋 秀行 様 (ゲストスピーカー)

横浜港北RC 椎橋 忠男 様 (IMキャラバン隊)

横浜港北RC 伊東 淳子 様 (IMキャラバン隊)

ビジター紹介 酒田RC 茂木 英一 様

大和田園RC 古谷田 紀夫 様



### 本日〈2月25日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「それこそロータリー」
  - ◆ 献 立 サーモンのムニエル
  - ◆ 卓 話 フリートーキング
- テーマ「ルーヤンロータリークラブについて」

## 特別行事

IMキャラバン隊 参加促進PR



横浜港北RC 椎橋 忠男 様、伊東 淳子 様

・次週、例会終了後にクラブ協議会がございます。各委員会委員長の方で、事前レポートの提出がまだの方は至急事務局宛てに提出をお願い致します。

## 出席報告 森永 健 委員長

会員総数	55名	(40+15)名	
出席会員数	43名	(32+11)名	
出席率	84.31%		
ゲスト	3名	ビジター	2名
前回補正後	84.31%	前々回補正後	87.76%

## スマイルボックス 山本 芳弘 副SAA

横浜港北RC 椎橋忠男様、伊東淳子様

本日はIMキャラバン隊で参りました。よろしくお願い致します。

酒田RC 茂木英一様

お世話になります。

大和田園RC 古谷田紀夫様

急な訪問を温かくお迎え頂き、ありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。

梅崎興生君 誕生日祝いを頂き、ありがとうございました。60代最後の祝いと考えます。69歳です。

脇田いずみさん ①誕生日祝い、ありがとうございます。②大橋様、ようこそいらっしゃいました。宜しく願い致します。

森永 健君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。

横山範夫君 大橋様、卓話よろしくお願い申し上げます。茂木様、山形よりようこそお出で頂き、ありがとうございます。

石川正三君 古川会員の『お別れ会』に際しましては、休日にもかかわらず多くの会員にご協力を頂き、深く感謝しております。遅ればせながら、来週富美子夫人がご挨拶にいらっしゃる予定です。

山本 登君 所用により早退致します。ご容赦下さい。

小池将夫君 土砂降りの夜中の雨、明けて今は青空で、ぼかぼか陽気。そして明日はまた寒いそうです。体調管理にご配慮を！！

西山 潔君 大橋会長、本日は大変お忙しいところありがとうございます。卓話、楽しみにしております。

山本芳弘君 ①大橋会長、いつもお世話になります。本日は卓話、よろしくお願い致します。②茂木様、遙々お出かけ下さいまして、ありがとうございます。

2月18日	12件	36,000円
本年度累計		1,447,100円

## バナー交換



酒田RC 茂木 英一 様

## 会長報告

・米山奨学会より飯田昇会員に第6回米山功労者マルチプルのご報告が届いておりますのでご報告申し上げます。

## 幹事報告

- ・神奈川県ロータリアン親睦テニス会の案内が来ておりますので回覧します。
- ・世界ローターアクト週間の案内が来ておりますので回覧します。
- ・2009-10年度R財団年次報告書が届いておりますので回覧します。
- ・2011-12年度のR手帳の注文依頼がきております。例年ですと一括発注して全会員へお配りしているのですが、必要のない方もいらっしゃると思いますので、今年度よりお申込み頂いた方のみにお配りすることと致します。申込書を回覧致しますので、必要な方は名前を明記願います。なお、費用はクラブより負担致します。
- ・本日、例会終了後に2月度定例理事会を開催致します。

場所 3F ナイト

## 「ボクシング道」

プロボクサー 大橋 秀行 様  
 (紹介者 西山 潔 会員)



神奈川県横浜市出身。現役時代はヨネクラボクシングジム所属。日本ジュニアフライ級（現・ライトフライ級）、WBC世界ストロー級（現・ミニマム級）ならびにWBA世界同級王座を獲得した。2007年4月1日より東日本ボクシング協会会長、2010年4月1日にはこれと兼務する形で日本プロボクシング協会会長に就任している。

## 来歴

保土ヶ谷中学時代から地元の協栄河合ジム（現・オーキッド・カワイ・ボクシングジム）に所属し、学歴は横浜高等学校（2年生で全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会・モスキート級制覇）～専修大学中退。宅地建物取引主任者。「ライト級に匹敵する」と言われた強打が武器で、特にボディブローは絶大な威力を誇っていた。ストロー級・ジュニアフライ級（現・ライトフライ級）で活躍。現在は「大橋ボクシングジム」の会長で、川嶋勝重をWBC世界スーパーフライ級王者に育てた。

2007年1月3日開催の「ボクシング・グランプリ2007」にて日本代表の総監督を務めた。

東日本協会会長就任後、日本プロボクシング改革路線を掲げ、積極的に動いている。女子の解禁やスーパーミドル級以上のランキング創設（このうちヘビー級のみ復活）などをボクシング界に働きかけ、実現に至らせた。

日本協会会長就任に当たり、「プロボクシング・世界チャンピオン会」発足を提案。プロアマ問題の解決や「日本ボクシング殿堂」の実現へ向けての活動も行っている。

## 戦績

1985年2月12日、プロデビュー。キャッチフレーズは「150年に1人の天才（具志堅用高の100年に1人の天才を超えるという意味）」

1986年6月23日、6戦目で日本王座初挑戦。空位のジュニアフライ級王座を野島嘉章と争い、10回判定勝ち。王座獲得に成功（1度も防衛することなく王座返上）。

1986年12月14日、続く7戦目で世界初挑戦。敵地でWBC世界ジュニアフライ級王者張正九（韓国）に挑むが、5回TKO負けで王座獲得ならず。

1988年1月11日、日本王座再挑戦。ジュニアフライ級王者喜友名朝博に挑み、10回判定勝ち。1年半ぶりの王座返り咲きを果たす（1度も防衛することなく王座返上）。

1988年6月27日、世界再挑戦。後楽園ホールで張正九に再度挑む。3回、3度のダウンを奪われた直後、右の強打をアゴにクリーンヒットさせ、王者を大きくグラつかせたものの追撃及ばず。結局、その後4度のダウンを追加された末の8回TKO負けでまたしても世界王座獲得ならず。

1990年2月7日、階級を1つ下げ、ストロー級での世界挑戦。後楽園ホールでWBC世界同級王者崔漸煥（韓国）に挑む。当時、日本ボクシング界は1988年11月13日に井岡弘樹がナバ・キャットワンチャイ（タイ）に敗れ、WBC世界ストロー級王座から陥落して以降、世界王者不在の状態が続いており、国内ジム所属選手の世界挑戦連続失敗回数も「21」にまで伸びていた。それだけに、「日本ボクシング界最後の切り札」としてこの日の大橋に懸けられた期待は非常に大きかった。試合は一進一退の攻防に終始。そして、迎えた9回、左のボディブローで王者からダウンを奪う。辛くも立ち上がった王者に対し、さらなる追撃を浴びせ、最後は再び左のボディブローでダウンを奪い、そのまま10カウント。この瞬間、世界挑戦連続失敗記録にストップがかかり、日本ボクシング界に1年3ヶ月ぶりの世界王者が誕生した。久しぶりの世界王者誕生に会場からは「万歳！」の声は何度も響き、当の本人も「自分が勝ったことよりも世界挑戦連続失敗記録にストップを掛けられたことが嬉しい」と喜びを爆発させた。

1990年6月8日、初防衛戦。井岡から王座を奪った元王者ナバと対戦し、ダウンを1度奪った末の12回判定勝ち。

1990年10月25日、2度目の防衛戦。アマ・プロ通じて66戦無敗のリカルド・ロペス（メキシコ）と対戦したが、4回と5回に計3度のダウンを奪われた末の5回TKO負け。8ヶ月半で世界王座を手放した（なお、この日の大橋は38度台後半の高熱を出し、体調不良の状態で行っていた）。

ロペス戦後、一時は引退も示唆したが、ロペスへの雪辱を期し、1991年に再起。

ロペスとの再戦は実現しなかったものの、1992年10月14日、ロペス戦以来2年ぶりの世界戦。両国国技館でWBA世界ストロー級王者崔熙庸（韓国）に挑む。ロペス同様、無敗の王者と積極果敢に打ち合い、12回判定勝ち。世界王座返り咲きを果たした。

1993年2月10日、初防衛戦。東京体育館で無敗の指名挑戦者チャナ・ポーパイン（タイ）と対戦するも、12回判定負けを喫し王座陥落。試合後、一時は現役続行の意思を示すも、その後眼疾が発覚し、最終的には引退を決断。

初の世界王座獲得から4年後の1994年2月7日に引退表明とジム開設の記者会見を行った。





## クラブニュース

### ルーヤンロータリークラブ表敬訪問の報告vol.2

R情報委員会 委員長 吉田 隆男

いつも午後11時頃には眠りにつくのを習慣としている私が、深夜午前1時20分羽田発マレーシア航空でボルネオ島サバ州コタキナバル国際空港に向かい、飛び立ちました。

日本との時差1時間遅れの早朝6時30分到着、空港にはKent Chau会長、三堀P P夫妻、Pauline Lo国際奉仕委員長らが出迎えに来て下さり、その後ホテルで朝食を会長、三堀夫妻とご一緒にとりながら今後の予定の打合せを行いました。

この時シャング・ラ・タンジュン・アル・リゾート&スパホテルのチェックインでアーリーチェックインの予約のはずが部屋の用意が出来ていないなどのトラブルがあり、これが飯田幹事のクレーマー事件（何故か飯田幹事の部屋のみトラブル発生）の始まりでもありました。

5日間のスケジュールのうち、2日間位は自由行動があり、南国の観光気分を味わうつもりが、Kent会長の熱い友情により、全て吹っ飛ぶことになるとは夢にも思っていなかったことの始まりでもあったのです。しかしこの日は、やっと夜に解放され、5名で前回行ったことのあるイタリア料理店でリラックスしておいしく食事をとりました。

2日目日曜日午前6時30分に朝食をとり、早朝、Kent会長、三堀夫妻が迎えに来て、オランウータン保護区見学、東南アジア最高峰キナバル山を中心としたキナバル国立公園に連れて行って頂き、一日はあっという間に過ぎました。途中ではスコールにも遭い、キナバル山は雲に隠れ、またの機会のお預けになった感じです。

その後もKent会長の熱い友情は続き、3日目も早朝からトウクアブドウルラーマン公園5島のうちの一つの島に連れて行って頂きましたが、小雨と寒い気温で海にも入らずとんぼ返りとなり、栈橋でホテルの朝食ビュッフェから失敬してきたパンを海に投げて熱帯の魚を見たのが唯一の収穫だったものです。

コタキナバルの気温は、予想より寒く、滞在期間中小雨または曇り、帰る日初めて太陽が拝めるなどによって、時の経つのも忘れて

ビーチでのんびりする予定が夢のまた夢となりました。

ところでクレーマー事件は相変わらず続き、これらにより飯田幹事の部屋に極上のワインがホテルからプレゼントされ、例会日の夜、5名の反省会において、おいしく頂き、やっと盛り上がったものです。

そしていよいよ3日月曜日の夕方は、今回訪問の第一目的であるルーヤンロータリークラブの例会場であるパレスホテルにて大歓迎を受け、食事の後、例会に出席（ちなみに乾杯はお湯）、プレゼントの交換、バナーの交換等の後、Kent会長の挨拶、飯田幹事の格調の高い挨拶が続きまして。ちなみにKent会長の通訳は三堀P P、飯田幹事の通訳は白鳥会員が完璧(?)にこなしました。白鳥会員の通訳は滞在期間中、Kent会長などとの間に入って見事にこなし、コミュニケーションギャップもなくスムーズにいったものです。

会議においては、ライブラリーへの本などの寄付の件、高校生の交換交流の活動の件なども出ましたが、当然これらは持ち帰り、クラブ内で検討し、年度はいつになるとは言えないが、その時点ではしたいものですとの趣旨の回答をしました。この件はまた理事会で報告します。

4日目火曜日、今回の第二の目的であるShan Tao High Schoolの訪問となりました。学校では校長先生、2008年5月日本に来られた生徒5名のうち4名、ミスヤップ先生、そしてローターアクトの生徒らが参加して活発な意見交換を行いました。是非日本に来て勉強したいという生徒が大多数で、最近の日本の高校生にはあまりみかけない真面目さがひしひしと伝わって来ました。

興味深かったのはローターアクトの生徒の就職に際し、ロータリークラブが推薦状を書くということです。ただ、マスメディアでKポップスの放送などが多く発信されている韓国への関心の高さに驚きました。マレーシアにおける日本の音楽などのマスメディアの発信が少ないということが気になりました。学校訪問の後、Kent会長、三堀夫妻と共にKent会長が役員を務めるキリスト教会が運営する老人ホームに案内され、そこで生活する方々、また看護する人達との交流もしてきました。環境に恵まれた施設でのんびりとしてはいますが、私などの場合お世話になるのは一週間が限度かなと思いました。

その後、夕方も会長、三堀夫妻と会員の方々とともに最後の晩の夕食をとるにして、大いに盛り上がりました。三堀夫妻はお酒を飲みますが、他の会員の方々は殆ど酒を飲まないのが印象的でした。

お酒の席での余談の話ですが、回教徒は4人まで妻を持つことが出来るそうですが、新しい妻を持つ時は現在いる妻全員の拇印が書類に必要だそうです。その為、妻が寝ている時、気が付かないうちに拇印を押すとか。

5日目水曜日、いよいよ帰国の日。ホテル、または空港に会長を始め、会員の方々に見送りに来て頂き、厚情に熱いものが胸を横切りました。

改めて、Kent会長、三堀夫妻、会員の方々に心から感謝申し上げます。

次週《3月4日》の卓話予定

テーマ「汝自身を知れ」

画家 喜多 迅鷹 様

(紹介者 我妻 隆邦 会員)